

2025 年度 長岡大学シラバス

授業科目名		キャリア開発Ⅱ-1 (Career Development Ⅱ-1)				担当教員		広田 秀樹 (ヒロタ ヒデキ)	
2020-23 年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	学生参加型 AL	
	2010-0-21-003	教養科目	必修	1 単位	2 年次	前期			
2024-25 年度 入学者(24K-25K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	学生参加型 AL	
	2410-0-21-003	教養科目	必修	1 単位	2 年次	前期			

① 授業のねらい・概要
企業等の組織、個人が激しく競争する社会で、逞しく活躍し続けるための、基本的な姿勢、考え方、ルール、作法、知識、視野、思考力を身につけることを目標にする。具体的には、産業社会を構成する多様な業界、企業について学習し、社会の組織で求められる多数の基本事項について学ぶ。授業内容は基礎レベルである。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
職業人として通用する能力を育成する授業
③ 授業の進め方・指示事項
基本的な知識、情報を紹介しながら、変化の激しい社会の各現場で実際に勤務されている方を、ゲストスピーカーとして招聘するので、各自が人生のデザインを考え参加すること。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
キャンパスライフ入門・キャリア開発Ⅰ
⑤ テキスト（教科書）※授業で使用する。
学習資料を配布する。
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。
大久保幸夫（2016）『キャリアデザイン入門〔Ⅰ〕基礎力編』（第2版）日本経済新聞社
⑦ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
経済社会とそこで競争する組織の現状を解説しながら、そこで生き抜き活躍するための重要事項が身につく授業を目指す。
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) 経済社会の基本構造が理解できる。 (ii) 経済社会で生きるための基本事項が理解できる。 (iii) 自分に合ったキャリアデザイン・ライフデザインを描くことができるようになる。

⑨ ルーブリック					
評価基準	S	A	B	C	D
評価項目	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 経済社会の基本構造の理解	経済社会の基本構造に関して、資料等に頼らず説明でき、授業内容を超えた学修成果を示している。	経済社会の基本構造に関して、資料等に頼らず説明できる。	経済社会の基本構造に関して、資料等を参照しながら説明できる。	経済社会の基本構造に関して、資料等を参照しかつ教員等の支援を得て説明できる。	経済社会の基本構造に関して、資料等を参照しても教員等の支援を得ても説明できない。
(ii) 経済社会で生きるための基本事項の理解	経済社会で生きるための基本事項に関して、資料等に頼らず説明でき、その体得に向けた実践への意欲がある。	経済社会で生きるための基本事項に関して、資料等に頼らず説明できる。	経済社会で生きるための基本事項に関して、資料等を参照しながら説明できる。	経済社会で生きるための基本事項に関して、資料等を参照しかつ教員等の支援を得て説明できる。	経済社会で生きるための基本事項に関して、資料等を参照しても教員等の支援を得ても説明できない。
(iii) キャリアデザイン・ライフデザイン構築の能力	キャリアデザイン・ライフデザイン構築に関して、資料等に頼らず説明でき、構築の能力向上に向けた実践への意欲がある。	キャリアデザイン・ライフデザイン構築に関して、資料等に頼らず説明できる。	キャリアデザイン・ライフデザイン構築に関して、資料等を参照して説明できる。	キャリアデザイン・ライフデザイン構築に関して、資料等を参照し、さらに教員等の支援を受けて説明できる。	キャリアデザイン・ライフデザイン構築に関して、資料等を参照しても、教員等の支援を受けても説明できない。

⑩ 習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	45%		30%		25%		100%
(i) 経済社会の基本構造の理解	20%		10%		10%		40%
(ii) 経済社会で生きるための基本事項の理解	20%		10%		10%		40%
(iii) キャリアデザイン・ライフデザイン構築の能力	5%		10%		5%		20%
フィードバックの方法	課題についてコメントを行い討論のベースとして紹介する。						

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）	
1	イントロダクション・キャリアとは何か	各自の個性とライフデザインを探究する課題	240 分
2	人生におけるキャリアの重要性	各自の個性とキャリアデザインを探究する課題	240 分
3	経済・産業・企業	学校と社会の相違点を考察する課題	240 分
4	企業等の組織の基本構造	組織と個人の関係を考察する課題	240 分
5	業界研究・企業研究の重要性	各自の個性と業界研究に関する考察課題	240 分
6	流通業	流通業に関する考察課題	240 分
7	製造業	製造業に関する考察課題	240 分
8	金融業	金融業に関する考察課題	240 分
9	建設業	建設業に関する考察課題	240 分
10	サービス業	サービス業に関する考察課題	240 分
11	公共の仕事	公共の仕事に関する考察課題	240 分
12	出版・印刷業	出版・印刷業に関する考察課題	240 分
13	貿易業	貿易業に関する考察課題	240 分
14	インターンシップについて	インターンシップに関する考察課題	240 分
15	まとめ	キャリアデザイン・ライフデザイン構築の具体的実践に関する考察課題	240 分

⑫ アクティブラーニングについて
学生参加型 AL を採用する。授業内容をベースにして、独自に調査、考察し課題を作成する過程で、本質を見抜き、組織にとって有意義な提案ができる高度な思考力が身につく授業を目指す。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性